

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターKusuの木（児童発達支援）				公表日	2024 年 11 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0		・現在の利用児数であれば適切だと思うが、人数や活動に応じて使用する部屋を分けるなど、広いスペースを有効活用していきたい		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	・少人数の日でも配置職員数が十分いるため適切だと思う ・かなり手厚い配置人数であるため、その分いろいろなことにチャレンジしたり、手厚い支援が提供できるよう努めている	・配置人数は基準を満たしているが、記録・預かり・個別訓練で人が抜けると人手が足りないことがあるため、職員同士で連携をとるよう心がけている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	・引き戸やフラットなトイレの床など利用児への配慮が行き届いていると思う			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・毎日清掃しているので清潔である			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	・カンファレンスという機会は設けられている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	・面談の場が年1～2回設けられている	・話し合いの後、どうなったか等報告が遅いことがあったため、早めの状況報告・結果報告を心がける ・現場の意見がうまく伝わっていないと思うことがあるので、職員会議の場を設ける		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	1	・法人内の病児・託児の職員が見に来て、フィードバックをもらった ・町内の幼保の先生方に来ていただいた	・他事業所（同業者）に評価してもらう機会があればありがたいので、今後検討したい		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・毎月1回研修を行ってくれるため、普段の支援につなげていける良い場になっていると思う			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	2		・出来上がった計画案を見て意見を言う機会が設けられている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	・こどもファーストでその子に合った支援を目指してはいるが、なかなか結果が伴わないこともあり、日々苦慮している ・カンファで検討している			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2	・そう努めている	・成長したい姿に沿って支援を基本行っているが、実施されているものとできていない部分があるため、まんべんなくすべての目標に沿っての支援をしていきたい		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	・決められた課題に対して詳細な内容を考えている	・限られたメンバーで進められておりもったいないので、できる限り多くの職員で意見を出し合い ・保育士間で話し合って案を出すことで職員の一員としての意識が上げられいいと思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2	・同じプログラムが続かないよう、月の中でプログラムをばらして行っている ・季節行事や月1回はイベントのような活動を取り入れる工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	・特に配慮が必要な児や利用児が多い時には打合せしている ・必要な場合は行っている（役割分担をすることでマイナスにはたらく場合もあるため、臨機応変に対応している）	・分担は伝え合っているが、利用児に個別での対応目標を話し合う時間は取れないので、すき間時間をうまく活用したい ・個々で話している場合が多いので、全職員での情報シェアを円滑に行えるような方法を考えたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	5	・普段と異なることや共有すべきことがあった時には振り返りや反省等を話し合ったり共有できている	・個々で話している場合が多い（全体で話をする時間をとることは難しい）ので、全職員での情報シェアを円滑に行えるような方法を考えたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		・記録に関してはブラッシュアップが必要だと感じている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1		
関係機関や保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		・幼稚園との連携はとれているが、小学校との連携は希薄であるように思うため、今後の課題として考えたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2	・移行シートを活用している	・25に同じ
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0	・地域の幼稚園・保育園をはじめ、障害児通所事業所の職員を対象に障害児支援にかかる研修会等を行ってきている	

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0	・今年度は強度行動障害支援者養成研修を児発管が受講した ・他の従業者についても、上記（28）の研修会への参加を勧奨している	・研修はより多くてもよいように思う
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	2	・高松圏域の自立支援協議会こども部会にコアメンバーとして参画してきている	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	・就園している児に関してはある。また、託児所の子どもたちが遊び（園庭）に来ている時に交流の機会がある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	・フィードバックにて話をする場を設けている	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	8		・子どもと保護者で参加して活動する時間、保護者の方同士の交流や学びの時間の提供について検討していきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・必要な場合は児発管に伝え、面談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	9		・兄弟児で利用はあるが、父母の会等はないため、保護者同士が交流する機会について検討してみたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	7		・活動予定だけでなく普段の活動の様子であったり、イベント風景等を発信していくことで、利用者さんや利用希望の方にKusuの木を知ってもらうよう努めたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7		・イベントの企画等地域の方々と交流する機会を検討したい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		・玄関に置いているが、利用者の方への周知を徹底していきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	・定期的に行えるよう活動に取り入れている	・不審者対応訓練の機会が少ないので頻度を検討し直したい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1		

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	2		